

# てくてく通信No.112

発行日 2024年02月04日  
発行 福岡県ウォーキング協議会  
<https://www.njsf.net/zenkoku/pref/fukuoka/walk/>

連絡先

新日本スポーツ連盟福岡県連盟事務所  
〒811-2121 糟屋郡宇美町平和1-3-11  
TEL・FAX 092-934-0853  
e-mail : njsf\_fukuokaken40@lib.bbq.jp

新日本スポーツ連盟福岡県連盟北九州事務所  
〒806-0013 北九州市八幡西区清納1-1-10  
TEL・FAX 093-662-9278  
e-mail : krc-fn@jcom.home.ne.jp

## 《1例会報告》

### 「長崎街道パート10」 牛津宿～大町宿

嶋田良裕



1月28日10時、JR牛津駅。待合室には佐賀宿から12K歩いて来た淵上さんがゆっくりと朝食を摂っていた。集合したのは初参加者を含め14人。

江戸時代に宿場町だけでなく、商売の中心地だった牛津。今はその面影も少ないが、玉屋創業の田中丸家



の赤れんが館が二階建、壁厚46cmの重厚な倉庫のまま保存されている。隣の別荘牛津会館と共に国の重文に指定され、往時の繁栄を思わせる。次に向かったのは牛津乙宮社で800年の歴史が有り、境内の狛犬が何故か2躰とも阿形だった。

ここで、てくてく組の3人と別れ、小田宿へ向う。軒の低い家並みに恵比寿様がチラホラと見られる。やがて牛津川に架かる砥川大橋がみえる。橋上に吹く風が冷たい。道はR34号線に、さらに脇道に入ると寺町筋、門前に石仏が鎮座、石工集団の作品と思われる。そこで宿場羊羹の看板を発見し一呼吸。白く輝く巨大な身代り観音を見上げながら、JR江北駅に到着。てくてく組と合流し昼食。淵上氏帰路につく。

駅から歩くこと30分で小田宿へ到着。「ながさき美ち古くらみち」の道標有り。道沿いに白壁の家が散在、豪壮な関川家住宅が目目を引く。行基が創建した馬頭観音堂、樹齢1200年という大楠は火災で大株が残り往時を偲ばせる。記念写真後、4人は車で大町へ。急がない人は大町駅まで歩く。小田宿を過ぎたところで足元を見ると、側溝に駕籠昇きの図が施されていた。長崎本線沿いを歩き15時40分、JR大町駅到着。13kmの行程を終える。



## 《2月例会案内》 風に乗って小倉南の近郊散策

今回は早春の風に乗って、下曾根から長野緑地へと平坦な道を進み、舞ヶ丘、横代と小倉南の郊外の風景を楽しみながら総合農事センターへ進みます。農事センターでは満開の梅苑が迎えてくれるでしょう。

- 1 日程 2月25日(日) JR下曾根駅 10時40分
- 2 コース JR下曾根駅～長野緑地～舞ヶ丘～横代～  
総合農事センター～JR安倍山公園駅(14:30)
- 3 交通 博多発 8:49 小倉着 10:00  
小倉発 10:15 下曾根着 10:30
- 4 持ち物 保険証・雨具・弁当・タオル・着替え・帽子等
- 5 参加費 会員 500円 会員外 1,000円



## 《2月オプション》 「赤間酒蔵」開き

江戸時代には、唐津街道の宿場町として栄えた宗像市の赤間地区で行われる「赤間宿まつり」。今でも造り酒屋などの商家が残る赤間宿通りが歩行者天国となり、古民家や酒蔵が一般公開されます。翌日は例会がありますので前日は、酒を楽しむ会にしたいと思います。試飲や限定酒の販売もあります。

日 時：2月24日(土) 10:00 JR教育大前駅

コース：JR教育大前駅 10:10～赤間宿散策～勝屋酒蔵～散策～レストランかつ亭 11:30

参加費：会員 500円、会員外 1,000円

持ち物：保険証・ハンカチ・タオル・雨

交通 博多駅 9:03 発～教育大前駅 9:53 着

黒崎駅 9:20 発～教育大前駅 9:46 着



## 「2月例会風に乗って小倉南の近郊散策」と「酒蔵開き」申込書

×切 2月22(水)

氏名		性別	男 女	年齢	
住所	〒				
連絡先及び 緊急連絡先					
備考	2月例会参加		オプション参加		